| 授業科目名・形態 | 女性の健康支援　　演習 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 工藤 優子・日沼 ゆかり | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ３年後期 |
| 科目ナンバリング | N7-3012m | | | | |

**【授業の主題】**

妊娠期から産褥期における健康診査、社会制度などの法的根拠について学習する。また科学的根拠に基づいた助産ケアおよび保健指導について理解を深める。母乳育児をはじめとした育児支援技術や、乳幼児の健康診査について学習し、出産準備教育として母親教室を企画・開催する。また、家族計画と受胎調節実地指導員について学ぶ。

**【到達目標】**

1. 妊娠期から産褥期における支援の法的根拠と制度について理解を深める。
2. 母乳栄養確立、母乳育児支援について理解を深める。
3. 出産準備教育として両親学級を企画・開催する。
4. 妊娠期の助産ケア・保健指導の実際について理解を深める。

**【授業計画・内容】**

| | | |
|---|---|---|
| 第 1 回 | 妊娠期の助産の法的根拠とケアの実際① | (工藤) |
| 第 2 回 | 妊娠期の助産の法的根拠とケアの実際① | (工藤) |
| 第 3 回 | 親となるひとたちへの支援① | (工藤) |
| 第 4 回 | 親となるひとたちへの支援②（出産準備教育（企画書作成)） | (工藤) |
| 第 5 回 | 母乳育児支援①（乳汁分泌機序、母乳の利点、DVD 鑑賞） | (工藤) |
| 第 6 回 | 母乳育児支援②（乳房の観察方法・授乳姿勢の観察方法、指導方法） | (工藤) |
| 第 7 回 | 出産準備教育① | (工藤) |
| 第 8 回 | 出産準備教育② | (工藤) |
| 第 9 回 | 家族計画と保健指導 | (工藤) |
| 第 10 回 | 妊娠期の保健指導① | (日沼) |
| 第 11 回 | 妊娠期の保健指導② | (日沼) |
| 第 12 回 | 妊娠期の保健指導③ | (日沼) |
| 第 13 回 | 妊娠期の保健指導④ | (日沼) |
| 第 14 回 | 妊娠期の保健指導⑤ | (日沼) |
| 第 15 回 | 妊娠期の保健指導⑥ | (日沼) |

**【授業実施方法】**

講義および演習

**【事前・事後学習】**

講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

**【主な関連する科目】**

基礎助産学、助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

**【教科書等】**

助産学講座３、４、５、６、７、８、医学書院
カラー写真で学ぶ　新生児の観察と看護技術、周産期の看護技、妊産褥婦のケア、医歯薬出版株式会社

**【参考文献】**

随時資料を配布する

**【成績評価方法】**

筆記試験 80%、演習・レポート 20%により総合的に評価する

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

実務経験あり。
助産師としての実務経験を踏まえ、事例などを提示し、講義内容の理解が深まるように工夫している。

**【学生へのメッセージ】**

周産期にある女性と新生児をケアするための実践的な講義です。臨床場面をイメージし、なぜそのようにするのかなど根拠を考えながら学習しましょう。